



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 高島株式会社

コード番号 8007 URL <http://www.tak.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高島 幸一

問合せ先責任者 (役職名) 経理ユニットマネージャー

(氏名) 平川 知志

TEL 03-3567-0755

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	57,814	1.4	816	30.5	808	41.7	391	8.1
23年3月期第3四半期	57,025	12.7	625	123.3	570	111.4	362	77.1

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 388百万円 (75.8%) 23年3月期第3四半期 221百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	8.65	—
23年3月期第3四半期	8.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	35,025	8,106	23.1
23年3月期	32,391	7,810	24.1

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 8,106百万円 23年3月期 7,810百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	3.3	1,050	58.5	1,000	51.7	500	28.2	11.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	45,645,733 株	23年3月期	45,645,733 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	394,686 株	23年3月期	384,187 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	45,255,141 株	23年3月期3Q	45,273,202 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいたものであり、実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は、四半期決算短信[添付資料]P.3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日)におけるわが国の経済環境は、第1四半期に東日本大震災の影響を受けたサプライチェーンの復旧が進み、経済全体に少し明るさが見えてきたところに、欧州金融危機の深刻化と更なる円高に加え、タイの洪水被害が発生し、景気回復にブレーキがかかる状態となっています。しかしながら震災復旧等に伴い、当社との関連が最も深い建設関連市場などは回復基調にあります。

このような環境の下、建材分野の内、太陽エネルギー関連分野は再生可能エネルギーに対する関心の高まりなどにより需要が増加いたしました。その他の建材分野は第1四半期の落ち込みが影響し、累計では建材事業全体ではほぼ前年並みの売上となりました。産業資材事業では、産業用繊維資材などの復旧関連の需要増加と、震災後に特に高まった省エネ照明や、電子部品の需要拡大により、売上が増加いたしました。その結果、当社グループ全体として売上が増加いたしました。

このような結果、当社グループの当期における売上高は57,814百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は816百万円(前年同期比30.5%増)、経常利益は808百万円(前年同期比41.7%増)、四半期純利益は391百万円(前年同期比8.1%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①建材

当セグメント売上の3割以上を占める太陽エネルギー関連分野では、再生可能エネルギーに対する関心の高まりから需要が拡大し、売上は増加いたしました。一方、断熱材関連分野・土木関連分野においては第1四半期の震災後のサプライチェーン混乱の影響が累計でも影響し、売上が減少いたしました。全体では売上はほぼ前年並みとなりましたが、仕入原価低減に努めた結果、セグメント営業利益は増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は37,621百万円(前年同期比0.4%減)、セグメントの利益は481百万円(前年同期比87.9%増)となりました。

#### ②産業資材

東日本大震災後のテント・シートなどの復旧需要関連分野、省エネ照明などの環境性重視関連分野と繊維資材分野の売上が増加いたしました。また電子部品関連分野も海外での需要増加により売上が増加いたしました。一方、自動車やデジタル家電向けの樹脂製品関連分野は震災ならびにタイ洪水による生産減少により、また車輛部材関連分野は新幹線等の鉄道車輛生産の端境期も重なり、売上が減少いたしました。全体では売上は増加いたしました。事業ポートフォリオの変化によりセグメント営業利益は減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は20,025百万円(前年同期比5.0%増)、セグメントの利益は268百万円(前年同期比8.6%減)となりました。

#### ③賃貸不動産

中京地区における賃貸不動産需要の低迷により、売上が減少いたしました。当セグメントの売上高は167百万円(前年同期比5.4%減)、セグメントの利益は66百万円(前年同期比15.2%減)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末は、流動資産は27,261百万円（前連結会計年度末比11.6%増）となりました。主な要因は、省エネ器具等の調達により商品が433百万円、売上高の増加に伴い受取手形及び売掛金が1,825百万円増加したことによるものであります。

固定資産は7,764百万円（前連結会計年度末比2.4%減）となりました。主な要因は、基幹システムの構築により無形固定資産が57百万円増加し、一方で投資有価証券が時価下落等により148百万円減少したことによるものであります。

流動負債は22,238百万円（前連結会計年度末比17.0%増）となりました。主な要因は、売上増加に伴う仕入増加により支払手形及び買掛金が2,528百万円、長短振替等により一年内返済長期借入金が600百万円増加したことによるものであります。

固定負債は4,681百万円（前連結会計年度末比16.0%減）となりました。主な要因は、償還により社債が100百万円、返済と長短振替により長期借入金が605百万円減少したことによるものであります。

純資産合計は8,106百万円（前連結会計年度末比3.8%増）となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が時価下落等により54百万円減少、土地再評価差額金が税率変更により69百万円増加、利益剰余金が四半期純利益の計上で391百万円増加、配当金の支払により90百万円減少したことによるものであります。

### (キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、3,010百万円となり、前連結会計年度末と比べ70百万円の増加となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の営業活動における資金の増加は、443百万円（前年同四半期は684百万円の減少）となりました。主な要因は、仕入債務の増加が売上債権の増加とたな卸資産の増加を上回ったことによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の投資活動における資金の減少は、290百万円（前年同四半期は139百万円の減少）となりました。主な要因は、前期に取得した有形固定資産の支払いと、今期に導入した基幹システムの取得に係る支払いによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間の財務活動における資金の減少は、69百万円（前年同四半期は255百万円の増加）となりました。主な要因は、社債の償還及び配当金の支払いによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の業績につきましては、平成23年11月8日に公表いたしました予想を修正しております。詳細は、平成24年2月8日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (追加情報)

#### (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,940	3,010
受取手形及び売掛金	17,484	19,309
商品	2,444	2,877
未成工事支出金	461	438
その他	1,230	1,773
貸倒引当金	△121	△148
流動資産合計	24,439	27,261
固定資産		
有形固定資産	3,596	3,612
無形固定資産	133	190
投資その他の資産		
投資有価証券	2,505	2,357
その他	1,945	1,770
貸倒引当金	△229	△166
投資その他の資産合計	4,222	3,961
固定資産合計	7,952	7,764
資産合計	32,391	35,025

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,961	19,490
短期借入金	670	1,385
未払法人税等	147	128
賞与引当金	264	163
その他	964	1,070
流動負債合計	19,008	22,238
固定負債		
社債	350	250
長期借入金	2,655	2,050
退職給付引当金	594	528
その他	1,974	1,853
固定負債合計	5,573	4,681
負債合計	24,581	26,919
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,801	3,801
資本剰余金	1,825	1,825
利益剰余金	1,465	1,766
自己株式	△71	△74
株主資本合計	7,021	7,319
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	160	105
土地再評価差額金	783	852
為替換算調整勘定	△154	△171
その他の包括利益累計額合計	788	786
純資産合計	7,810	8,106
負債純資産合計	32,391	35,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	57,025	57,814
売上原価	52,070	52,611
売上総利益	4,955	5,203
販売費及び一般管理費	4,329	4,387
営業利益	625	816
営業外収益		
受取利息	39	34
受取配当金	59	70
持分法による投資利益	3	8
保険解約返戻金	21	—
償却債権取立益	—	5
その他	54	48
営業外収益合計	177	167
営業外費用		
支払利息	72	70
手形売却損	20	22
為替差損	120	70
その他	20	12
営業外費用合計	233	176
経常利益	570	808
特別利益		
貸倒引当金戻入額	42	—
特別利益合計	42	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	56
関係会社清算損	—	8
特別損失合計	—	65
税金等調整前四半期純利益	613	743
法人税、住民税及び事業税	111	223
法人税等調整額	139	128
法人税等合計	250	351
少数株主損益調整前四半期純利益	362	391
少数株主利益	—	—
四半期純利益	362	391



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	362	391
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98	△54
土地再評価差額金	—	69
為替換算調整勘定	△42	△24
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	7
その他の包括利益合計	△141	△2
四半期包括利益	221	388
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	221	388
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	613	743
減価償却費	107	133
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△115	△100
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△45	△65
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△113	△36
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	56
関係会社清算損益 (△は益)	—	8
受取利息及び受取配当金	△98	△104
支払利息	72	70
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,148	△1,871
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,491	△434
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,997	2,568
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△31	38
その他	688	△352
小計	△567	654
利息及び配当金の受取額	100	104
利息の支払額	△69	△68
法人税等の支払額	△148	△246
営業活動によるキャッシュ・フロー	△684	443
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	20	—
有形固定資産の取得による支出	△60	△175
有形固定資産の売却による収入	10	2
無形固定資産の取得による支出	△50	△116
有価証券の償還による収入	15	—
投資有価証券の取得による支出	△94	△12
投資有価証券の売却による収入	2	—
貸付けによる支出	—	△14
貸付金の回収による収入	17	13
その他	—	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△139	△290
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△24	137
長期借入れによる収入	500	150
長期借入金の返済による支出	△580	△155
社債の発行による収入	500	—
社債の償還による支出	△50	△100
配当金の支払額	△66	△89
その他	△23	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	255	△69
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	△12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△580	70
現金及び現金同等物の期首残高	4,027	2,940
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,446	3,010

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建材	産業資材	賃貸不動産			
売上高						
外部顧客への売上高	37,774	19,074	177	57,025	—	57,025
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	6	6	△6	—
計	37,774	19,074	183	57,031	△6	57,025
セグメント利益	256	293	78	628	△2	625

(注) 1. セグメント利益の調整額△2百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	建材	産業資材	賃貸不動産			
売上高						
外部顧客への売上高	37,621	20,025	167	57,814	—	57,814
セグメント間の内部売上高 又は振替	—	0	6	6	△6	—
計	37,621	20,026	173	57,821	△6	57,814
セグメント利益	481	268	66	816	—	816

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。